

フォーラムニュース

特定非営利活動法人奈良21世紀フォーラム会報

2016年 No.29

I. 平成28年度通常総会開催

☆活動実施方針、事業計画を決定

活動実施方針

- 奈良県の歴史文化とそれを取り巻く自然環境の魅力を再発見し、奈良県の活性化に結びつく提案活動を行う。
- 奈良県の観光立県としての持続的な観光振興のための取り組みに積極的に協力する。
- 奈良県内に根を下ろし、発展し続ける企業の伝統、文化、経営理念と奈良の風土とのかかわりを調査、記録し、県内で活躍する企業を県内外に紹介する。

平成28年度の事業計画

- ①「万葉蹴鞠」の復元
- ②「書の文化」の伝承
- ③「奈良の歴史文化資源」の探訪
- ④「奈良県企業の企業文化、企業風土」の調査、紹介
- ⑤「吉野川源流の水源地の森を守る活動」支援

通常総会

平成28年度の通常総会を、6月18日(土)奈良ロイヤルホテルにおいて開催しました。

総会では、平成27年年度の事業報告と決算の承認、平成28年度の活動実施方針、事業計画および予算を決定しました。また、一部理事の変更があり、新たに植野康夫氏、戸川和良氏並びに中村優造氏の3氏が理事に就任されまし



挨拶される堀井理事長

た。また、同日開催されました理事会において植野康夫氏は副理事長に就任されました。なお、西口廣宗氏、吉川勝久氏は理事を退任されました。(役員名簿は8ページ)

活動実施方針は前記のとおりですが、事業計画は、フォーラム発足時からの事業である「万葉けまり」の復元、「書の文化」の伝承、「吉野川源流の水源地の森を守る活動」支援の3事業を継続するほか、「奈良の歴史文化資源」の探訪については、日本人の心の原点を探る活動として奈良県内の神社、仏閣を始めとする文化資源を顕彰し、新たな視点で紹介するとともに、食文化を発掘し、観光資源として地域活性化に結びつける提案活動を行ってまいります。このほか「奈良県企業の企業文化、企業風土」の調査、紹介については、奈良の風土に生まれ成長するユニークな企業を対象に記録、調査し、経営トップの取材を通じて「奈良に息づく風土産業企業人列伝」として製作、刊行し、これらをシリーズ化する。また、取材企業での製造・製作・



総会風景



理事会風景



講演される牛島洋氏

展示等の現場や、様々な形で社会貢献に励む企業のリアルな姿に触れる機会として企業見学会を実施してまいります。これら2事業と合わせて5事業を行うことを決定しました。

総会終了後、牛島洋氏(鹿島アントラーズFC 元代表取締役社長)から「Football Dream」と題してご講演をいただき、鹿島アントラーズの設立に関わってこられた際、地域に密着し官民一体となって地域の振興と活性化やJリーグへの加盟、スタジアムの建設等に直接携わってこられた経験に基づく大変貴重で有意義なお話をいただきました。

Ⅱ. 平成28年1月以降に実施した事業

1. 「万葉蹴鞠」の復元

(1) 春日大社第60次式年造替奉納蹴鞠（春季）の実施

祝御造替奉納蹴鞠行事・万葉蹴鞠の宴 in 飛火野

～新たなる奈良県観光資源に～

実施日 平成28年5月29日（日）

参加者 30名

会場 春日大社「林檎の庭」および境内「飛火野」

5月29日（日）、春日大社第60次式年造替の奉祝行事として、万葉蹴鞠の奉納を同大社「林檎の庭」で、また、競技披露および一般体験を境内「飛火野」で催しました。昨年の春・秋と同様、奈良21世紀フォーラムが企画・制作し、昨秋は残念ながら天候に恵まれず奉納のみとなりましたが、今回は爽やかな空のもと全てを実施することができました。

出演者一同はおごそかに行列し、「林檎の庭」にて玉串奉奠など正式参拝した後、蹴鞠を奉納しました。古代衣装をまとったの華麗な足技に、一般参拝者からも歓声が沸きました。『続日本紀』にも蹴鞠などの一芸に秀でた者を表彰した記録があり、境内の一角が時を超えた雰囲気にも包まれました。

飛火野へ移動後、開会の辞・来賓祝辞とともに競技が披露されました。奈良時代の宴で演じられた蹴鞠を競技形式で再現したものです。高位の官人衣装に身を包んだ左右のチームが得点しあうごとに、異なる雅やかな音色が演奏されました。その様子を春日大社ゆかりの藤原氏貴人や女官に扮したスタッフが鑑賞し、司会者とともに会場を盛り上げ、競技終了後は一般観覧者にも蹴鞠を体験していただきました。

以下、当日の様子を写真で紹介いたします。（役職などは開催当時のもの）。次回は秋に開催予定です。（T. N）



林檎の庭へ向かう出演者一同



玉串奉奠に際してお祓いをうける一同



フリースタイル・フットボーラーの飯島正人さんによる足技



飛火野会場へ向かう一団



行事を通じて演奏していただいた天理大学雅楽部の皆さん



フォーラムを代表して江並一嘉・専務理事から開会の辞、隣の貴人役は落語家の林家染太さん



来賓を代表して石井一良・奈良県地域振興部理事から祝辞



競技風景



中学生チームによる競技（ヤナギフィールド奈良テソロの皆さん、ポルベニルカシハラの皆さん）



一般観覧者も体験

2. 「奈良の歴史文化資源」の探訪

奈良市東南部の歴史文化をさぐる

実施日 平成28年5月27日（金）

参加者 27名

通常非公開で謎の多い尼門跡寺院円照寺内部を拝観できるとあって、みんなの期待は大きかったに違いない。

山門の奥の右手に小さな門のある塀が続く。その門をくぐると広い空間に出た。本堂の前庭である。

寺方の案内で本堂へと足を踏み入ると、空気が変わった。中央に本尊、如意輪観音坐像、両脇には不動明王と地藏菩薩、そして左に少し小さ目の白絹を被った坐像がある。頭部には髪の毛が植えられていて、開山文智女王の父

である後水尾天皇の像であるとか。そして、右奥に並ぶ菊の御紋の入った位牌は宮家出身の歴代住職のもの等々…、寺の歴史と合わせて説明を受けた。

そして、渡り廊下を通り奥御殿へ。左右に3部屋ずつ並び、南側は手前から入口の間、中の間、上段の間（対面の間）と続く、上段の間には御簾がかかり、明治頃まではここに座す門跡へ正月の挨拶に訪れた知事たちは入口の間から拝謁したという。部屋の並びの縁側の先には本堂の前庭とは趣の全く違う枯山水の庭が広がっていた。

壁には法衣を纏った文秀尼像の絵が掲げられ、部屋のそこここに尼宮方の遊び相手であった人形の御遺物品などが並べられていた。さまざまな姿態と表情は愛らしく、気品にあふれ、いかにも尼寺らしい雰囲気にも包まれていた。



円照寺山門付近で中田講師の話に聴き入る

約1時間、寺内拝観に名残惜しさを感じながら、佐保短期大学内にあるレストラン「鹿野園」へと向かった。好きなものを食べるビュッフェ形式なのでお代りが自由、地元食材を使った料理に、デザートまでをたらふくいただき、次の場所へ移動。

錦秋の里と呼ばれるくらい紅葉が鮮やかで美しい正暦寺は青紅葉もことのほか美しい。その美しさを味わうために、かつては山門があった、泣き笑い地藏が佇むところでバスを降りる。正暦寺の歴史や、清酒発祥の地の由縁などについて



新緑に包まれる正暦寺参道



大原住職にお話を伺う



客殿にて中田講師の話を聴く

て講師の話を聞きながら青紅葉のトンネルに歩を進めた。大原住職の出迎えを受け、早速左手台地にある本堂へ案内をいただいた。仏の居並ぶ前での話は興味深いものだった。それは神仏習合の前に交わされた、大御輪寺からの寄付に関する資料の読み解き、そして本堂の仏たちについて話をうかがい、次に福寿院に場所を移す。まずは奥にある宝蔵内を拝観。普段は拝することのできない修復を終えたたくさんの仏たちに驚きの表情の参加者たち。各々に仏への思いを語り合い、質問も出た。

再び庭が美しい客殿にもどり、講師から、「女性と仏教」の話をうかがった。我が国における最初の出家者は渡来人の娘たちであったこと。この若い尼僧らは氏族間（蘇我氏と物部氏）の争いに巻き込まれ、迫害に遭いつつも、排仏派・物部氏の滅亡で自由の身となる。最初の出家者善信尼（司馬達止の娘）らは百済へ渡り受戒の法を学び帰国。のちに桜井道場に住み、多くの尼を指導するとともに僧侶への道を開いた。その後、仏教は聖徳太子という理解者を得て、宮

中にしっかり根つき宮廷の女性たちが仏教興隆の牽引者となった、などの話だった。参加者から「知らなかった」、「目から鱗…」の聲が聞かれた。

正暦寺には一時間余りの滞在で、一路バスは田原地区にある、太安萬侶の墓跡へと向った。バスを降りてしばらく歩く途中、溝に脱輪した車を救助するというハプニングがあったが、みんなは気を取り直し、茶畑の中の胸突き坂を登り、墓跡に到着する。整備された円形の墓前で太安萬侶や、墓発見のエピソード、火葬のはじまり、墓誌について等々、講師の説明に耳を傾けた。



太安萬侶の墓跡で

古代、都城の中には墓は作ってはいけないという決まりがあり、天皇や貴族は都の外に造ったが、太安萬侶の墓のある辺りの地は平城京より東へ約 10 キロの山中にあり、周辺には光仁天皇陵や、春日天皇陵があることから、神聖な場所と見られたのであろう。

今回探訪の奈良市東南部は、古いお寺が山の辺の道沿いに点在する等、古代において重要な地であったことを改めて確認できた一日であった。(N. N)

3. 奈良県企業の企業文化、企業風土の調査、紹介

◇奈良の風土産業 企業人列伝発行状況(平成28年1月～8月)

第11号 第一化工(株) 会長 小西敏文(平成28年3月1日発行)

第12号 (株)本家菊屋 社長 菊岡洋之(平成28年5月26日発行)

※在庫が少々あります。希望者にお分けいたします。

Ⅲ. 今後の予定

- | | |
|-----------|--|
| 9月23日(金) | 奈良の歴史文化資源の探訪
彼岸花と古代信仰が残る奥飛鳥・飛鳥川の上流をたずねる。 |
| 10月8日(土) | 奈良豆比古神社・翁舞見学会 |
| 10月16日(日) | 春日大社第60次式年造替奉納蹴鞠(春日大社、飛火野)
万葉蹴鞠の奉納
来場者蹴鞠体験の実施等 |
| 10月22日(土) | 第7回大仏書道大会 |
| ～23日(日) | 作品展示(22日～23日、大仏殿西回廊)
席書会(23日 大仏殿西回廊) |
| 11月3日(祝) | 「源流まつり」in わかやま しらすまつり(参加予定) |

理事会構成

役職名	氏名	職業(経歴)
理事長	堀井 良殷	公益財団法人関西・大阪21世紀協会理事長
副理事長	中村 憲兒	奈良交通㈱ 取締役相談役
副理事長	植野 康夫	㈱南都銀行 取締役会長
専務理事	江並 一嘉	元㈱近鉄百貨店 副社長
特別顧問・理事	森本 公誠	東大寺長老
特別顧問・理事	山口 昌紀	近鉄グループホールディングス㈱ 取締役相談役
理事	足立 伸之助	近鉄ケーブルネットワーク㈱ 相談役
理事	安細 恭弘	マルチメディアコンサルタント
理事	飯田 圭兒	㈱近鉄百貨店 相談役
理事	猪熊 兼勝	京都橘大学 名誉教授
理事	上野 誠	奈良大学 教授
理事	卜部 能尚	ウラベ木材工業 代表
理事	扇谷 泰之	㈱シードコンサルタント 取締役会長
理事	岡橋 清元	清光林業㈱ 取締役会長
理事	岡村 元嗣	岡村印刷工業㈱ 取締役社長
理事	榎木 康雄	㈱日昂食品 代表取締役
理事	菊池 攻	奈良トヨタ自動車㈱ 取締役社長
理事	久保 昌城	竹茗堂 代表
理事	小山 新造	小山㈱ 取締役社長
理事	近東 宏佳	共同精版印刷㈱ 取締役社長
理事	戸川 和良	KNT-CTホールディングス㈱ 取締役社長
理事	豊澤 安男	奈良豊澤酒造㈱ 取締役会長
理事	中井 隆男	大和ガス㈱ 取締役社長
理事	中寫 實男	奈良中央信用金庫 相談役
理事	森下 泰行	元近畿日本鉄道㈱ 副社長
理事	森本 俊一	三和澱粉工業㈱ 取締役会長
理事	山本 太治	㈱三輪そうめん山本 取締役社長
理事(事務局長)	中村 優造	元新若草山自動車道㈱ 取締役社長
監事	中寫 大	中寫大会計事務所 所長
監事	福嶋 重博	奈良県サッカー協会 名誉会長

(平成28年9月1日現在)

2016年9月発行
 編集 足立伸之助、中村優造
 発行 NPO法人 奈良二十一世紀フォーラム
 〒630-8244 奈良市三条町 511-3 奈良交通第2ビル